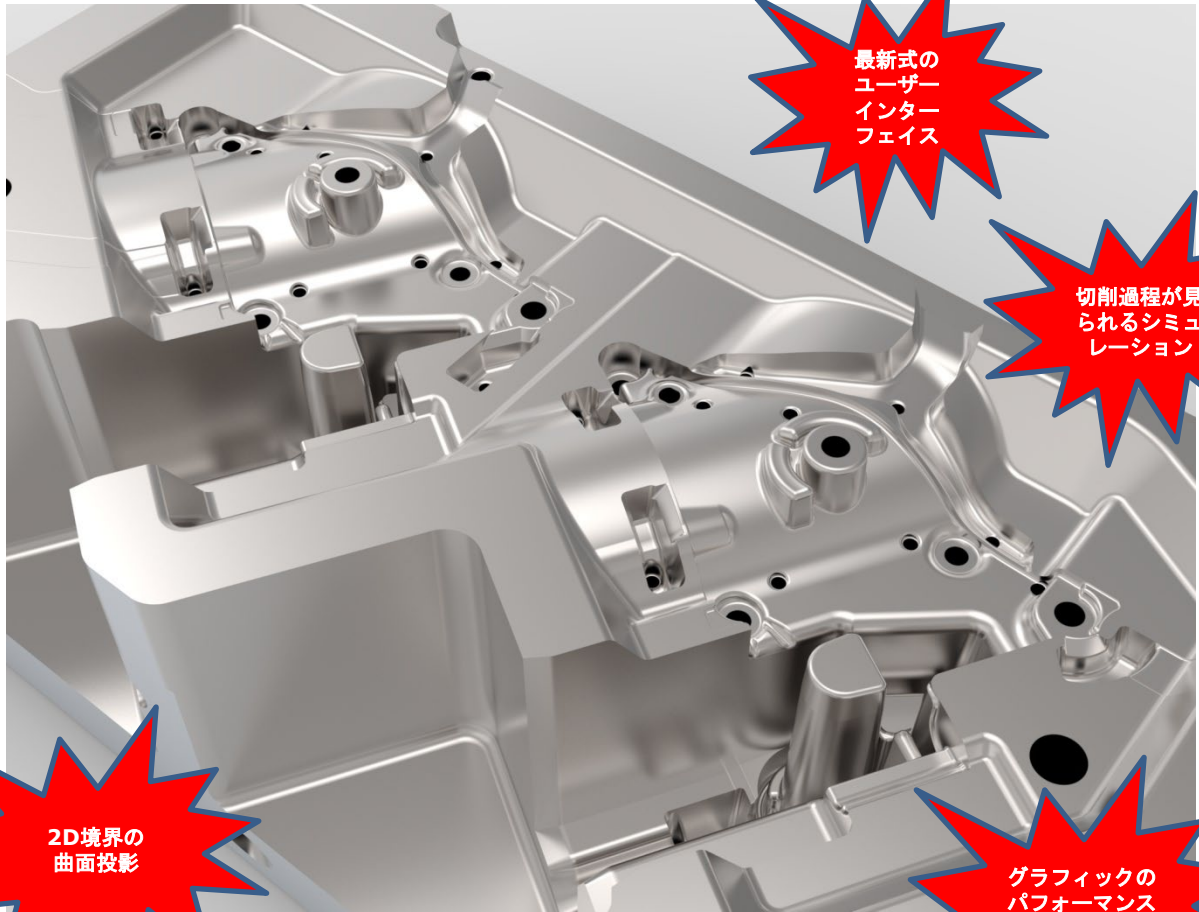


# DEPO<sup>®</sup> CAM

## DEPO CAM - V17.0



最新式の  
ユーザー  
インター  
フェイス

切削過程が見  
られるシミュ  
レーション

2D境界の  
曲面投影

グラフィックの  
パフォーマンス  
向上

画像提供 : Telkom - OT d.o.o. (スロベニア)

**DEPO CAM V17.0 新機能案内**

## DEPOCAM V17.0 新機能 - 基本モジュール

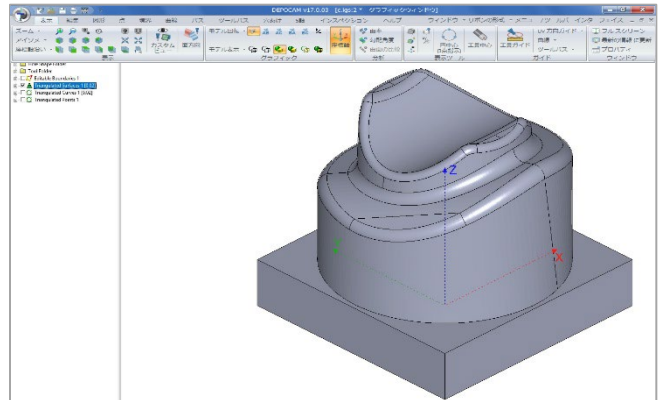
### 最新式のユーザーインターフェイス

DEPOCAM のユーザーインターフェイスの基本方式は、23年前に初めてこのCAMソフトウェアが製作されて以来、ずっと変わらずにきました。

しかし今、DEPOCAM v17 のユーザーインターフェイスはリボン方式となりました。リボン式は、ユーザーが効率的にコマンドを見つけ、理解し、使えるようにする最新の方式です。

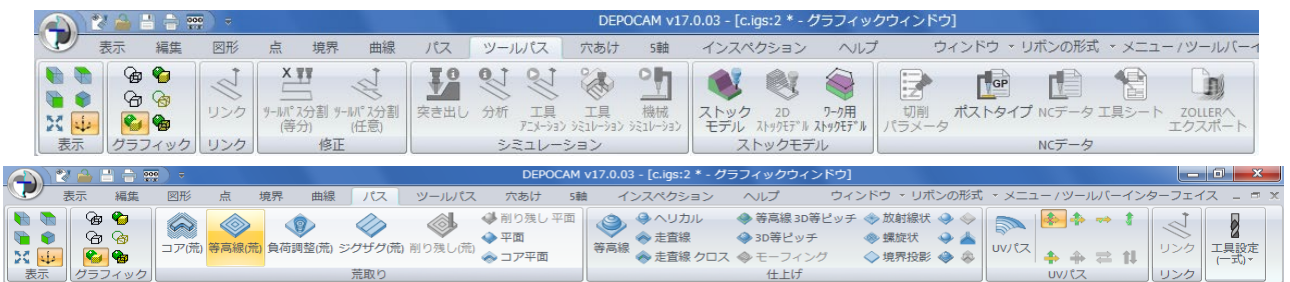
コマンド・バーでは、プログラムの機能を、ウィンドウの一番上にある一連のタブにまとめてあります。リボンのレイアウト上、その方が新機能を見つけやすいはず。全てのアイコンがデザインし直されており、ソフトウェアにまったく新しい外観と感触を与えています。

既存のユーザーの為、現時点では元のユーザーインターフェイスに戻せるアイコンがあります。これにより、ユーザーは既存の仕事量を維持しながら、時間がある時に新しいユーザーインターフェイスに移行することが出来ます。



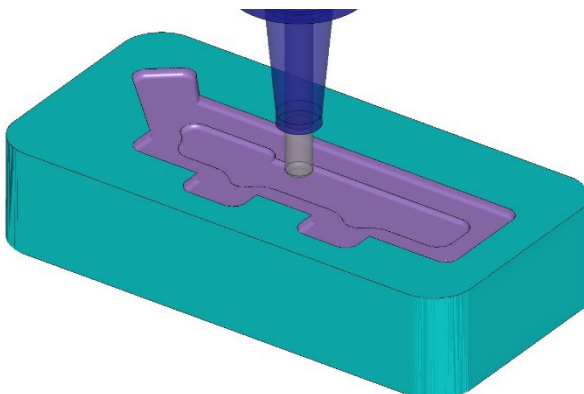
最新式ユーザーインターフェイス：

上 - 表示タブ  
下 - ツールパスタブとパスタブ



### 切削過程が見られるシミュレーション

既存の工具アニメーション機能に加えて、切削過程が見られる工具シミュレーションが追加されました。



切削の方向がダウンカットかアップカットかを示すことができ、また食込みや干渉を見つけることも出来ます。

これにより、計算したツールパスによって加工材が切削される過程のよりよい視覚化や検証が可能となります。

左 - 工具シミュレーション

## 穴あけ - 穴形状データベースと複合穴あけサイクル



上 - 穴形状データベース

左 - 複合穴あけサイクル

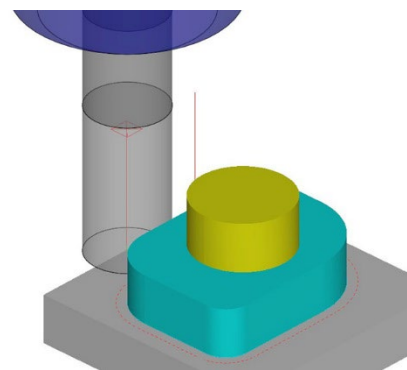
穴あけサイクル作成をさらに自動化する為、穴形状のデータベースを作成できるようになり、穴あけデータフォルダでこれらの穴形状を検索できるようになりました。また、いくつかのサイクルを複合サイクルとしてまとめ、特定の穴形状に適用できるようになりました。

複合穴あけサイクルは異なる向き（工具軸）の穴にも適用でき、従って、同じ形状でも向きが異なる穴を一度に加工することが出来ます。

## 曲線加工パス - 工具径補正の表示

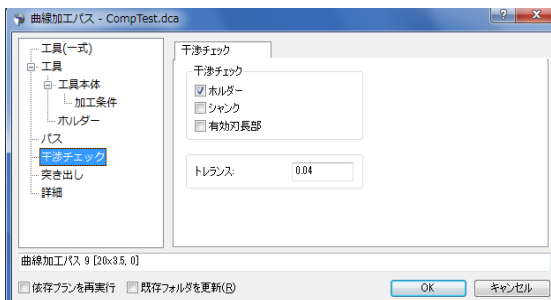
曲線加工で工具径補正を適用時（左または右）は、補正を適用後、補正後のパスの中央線を点線で表示するようになりました。

補正の左右は曲線の方向によります。パスのダイアログが開いている間、曲線上に方向矢印が表示されますので、必要に応じて方向を修正できます。工具の中心線の表示によって、実際のツールパスのオフセットを目で確認できます。



上 - 曲線加工パス - 工具径補正

## 曲線加工パス - 干渉チェック

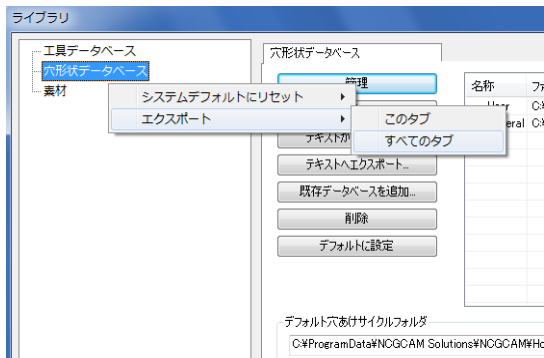


上 - 曲線加工パス - 干渉チェック

曲線加工のパスのダイアログで、干渉チェックオプションが3種類になりました。「ホルダー」、「シャンク」、そして「有効刃長部」です。それぞれ個別に設定できるようになりました。

例えば - 彫刻用の曲線を加工するには、事実上、工具の有効刃長部を食込ませられなければなりません。ホルダーやシャフトの干渉は防止することが出来ます。

## オプション設定のエキスポート



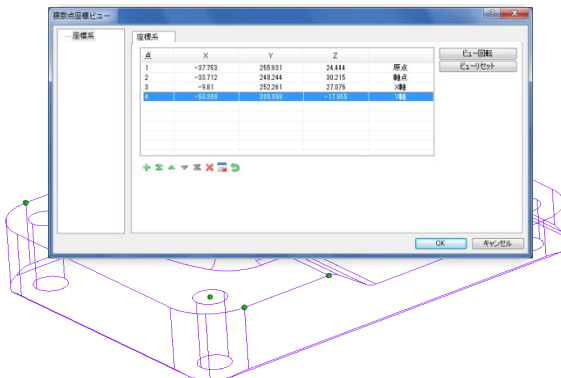
「ツール」→「オプション」の設定をエキスポートできるようになりました。「ツール」・「オプション」や「ライブラリ」のダイアログのタブで、コンテキストメニューからになります。

どのメニューにも「このタブ」と「すべてのタブ」という項目があります。エキスポートによって、そのタブの内容を復元するレジストリエディタのファイル (.reg) が作成されます。

DEPOCAM の新しいメジャー・バージョンにアップグレードする時や、新しいコンピュータにインストールする時に特に便利です。

左- オプション設定のエキスポート

## ローカル座標系



座標系機能が拡張され、軸の回転角度の情報も含まれるようになりました。基準となる参照点を含む点のフォルダを作成して、方向を指定することができます。工程ツリーでこの座標系のフォルダと三角パッチ曲面フォルダまたはツールパスを選択し、その後「座標系設定」を選択すれば、その加工モデルやツールパスを選択した座標系に移動します。

複数のモデルをインポートする場合、それらを共通の座標系に移動する時間を低減します。

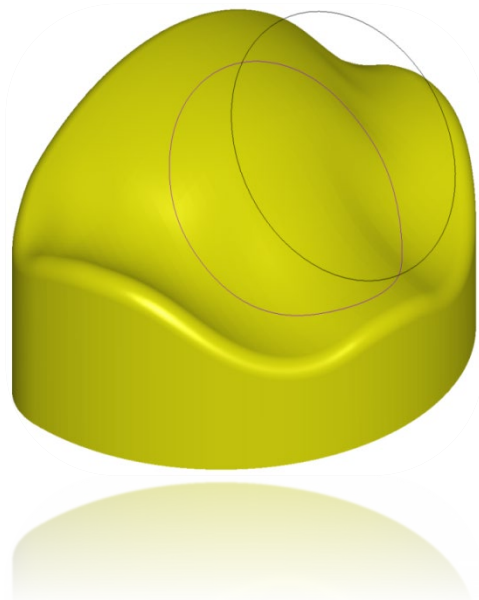
左- ローカル座標系

## 2D 境界の曲面への投影

2D の境界から、曲面に投影して 3D の曲線に出来るようになりました。このことは、追加の範囲限定用の境界を作成するのに役立つ、視覚的な補助となってくれます。

この機能は主に、3+2 軸加工を想定しています。既存の境界は工具軸に沿って、曲面の上空に描かれるからです。

これまでは、違う工具軸から作業する場合、曲面上に境界が接する正確な位置を確認するのは困難でした。



右- 2D 境界の曲面への投影

## グラフィックのパフォーマンスの向上

内部のグラフィックライブラリを徹底的に見直し、膨大な数の三角パッチを含むシェーディング・モデルの回転や移動のスピードにかなりのパフォーマンスの向上をもたらしました。DEPOCAM v17 では、DEPOCAM v16 より、30 ~ 40% 速くなりました。

モデルの物理的サイズが大きかったり、あるいは加工上必要なため、三角パッチトランスをきつくしたりすると、このような膨大な数になる可能性があります。

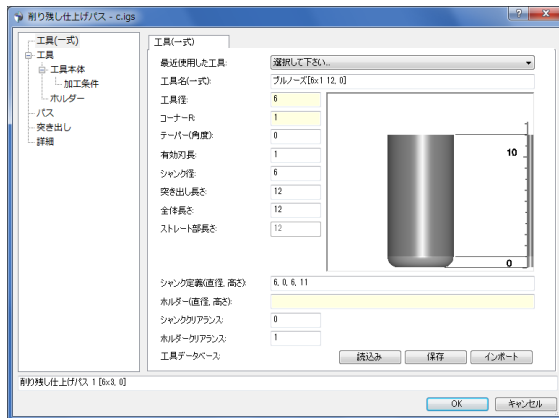
以前は、このような大きなモデルをスムーズに回転させるには、「モデル表示」を「ワイヤーフレーム」のどれかに設定しなければならなかったでしょう。もちろんこの方法は、今でも役に立ちそうですが。

## 削り残り仕上げ - ブルノーズ工具のサポート

この新機能によって、削り残り領域の加工にブルノーズ工具が使えるようになります。

これまでは、加工物のコーナー部を検出する参照工具にはボールエンドミルとブルノーズ工具が使えましたが、使用工具はボールエンドミルに限定されていましたが・・・

ブルノーズ工具も使用出来る様になりました。



左 - 削り残り仕上げ - ブルノーズ工具のサポート

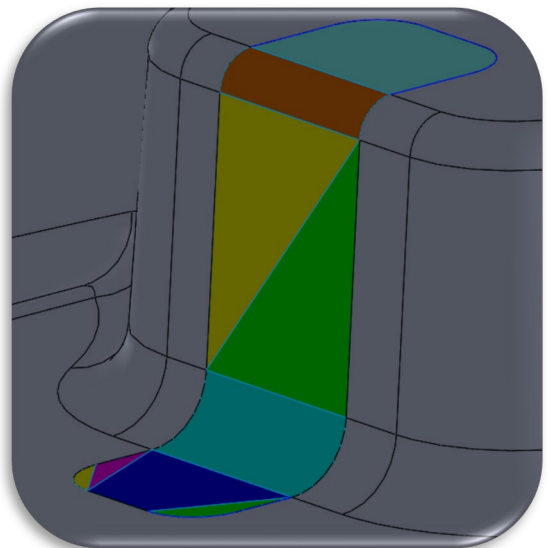
## 曲面 - 2本の 3D 曲線からパッチを作成

この開発は、2本の 3D 曲線から曲面パッチを作成できる、追加の CAD 機能を提供します。

曲線の開始点が同じ場合は、作成される曲面は三角形のようなパッチになります。

2本の曲線が離れている場合は、四角形のパッチが作成されます。

\*\*この機能は DEPOCAM v17.0 ではまだ利用できませんが、完成次第、v17 のポイントリリースに追加されます。



右 - 2本の 3D 曲線からパッチを作成

# DEPO<sup>®</sup> CAM



販売店連絡先:

--